

世界を目指すブリ。

長崎市高島町は、周囲6.4km、人口約300人の島。
旧長崎市高島水産センターを活用し、2024年に
「高島水産研究所」が開設されました。



「はじまりのブリ」には、
ながさきBLUEエコノミーを牽引する
征矢野教授の熱い思いが込められています。



完全養殖を目指す「JAPAN鯒」の
育成に取り組むスタッフたち。



高島水産研究所で育ったブリは、
1年3ヵ月で2kgを超えるまでに成長しました。

現在、高島水産研究所では、卵から稚魚、成魚までを一貫して育てる完全養殖に取り組んでおり、
水温・飼料・光・水質の管理に加え、AIや海中ロボット、データ活用など、養殖DXの導入も進めています。

「はじまりのブリ」は、2024年1月に五島で生まれ、
3月に高島水産研究所へ搬入された若魚で、現在は約2kgに成長しています。

同じ水槽で育つブリの一部は今後親魚として養成され、卵を産み、その卵を育てて次の親魚とする
この完全養殖のサイクルの実現が、「ながさきBLUEエコノミー」の目指す姿です。

若魚の飼育方法や親魚の養成に関する研究の一環として育てられた本個体は、
今回の提供・販売を通じて得られる味や品質の評価をもとに、
今後の育て方や国内外での展開に活かされていきます。

「はじまりのブリ」試食・販売します。

